



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日  
上場取引所 東

上場会社名 東芝テック株式会社  
 コード番号 6588 URL <http://www.toshibatec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 隆之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報室長 (氏名) 水野 隆司 TEL 03-6830-9151  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	249,907	5.9	10,174	41.6	9,675	64.1	7,889	83.2
2019年3月期第2四半期	236,071	△2.9	7,184	△30.9	5,897	△38.2	4,307	△16.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,120百万円 ( △17.6%) 2019年3月期第2四半期 5,002百万円 ( △29.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	143	51	143	33
2019年3月期第2四半期	78	38	78	27

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。  
 前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期第2四半期	295,880		102,995		31.8	
2019年3月期	275,055		100,758		33.0	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 93,993百万円 2019年3月期 90,898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	4.00	—	30.00	—	—
2020年3月期	—	20.00	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	40.00	—	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	480,000	0.7	20,000	11.2	18,000	9.3	12,000	7.0	218.36	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ―社（社名）―、除外 ―社（社名）―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」及び米国会計基準ASU 2016-02「リース」を適用しております。これに伴う影響額は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	57,629,140株	2019年3月期	57,629,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,641,179株	2019年3月期	2,670,805株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	54,972,777株	2019年3月期2Q	54,950,335株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) 決算概要の推移 .....	11
(2) 報告セグメント情報の推移 .....	12
(3) 仕向地別売上高の推移 .....	13
(4) 海外生産高比率の推移 .....	13
(5) 資源投入の推移 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では景気は堅調に推移したものの、欧州及びアジアでは総じて景気は緩やかに減速いたしました。また、日本経済は、輸出が伸び悩んだものの、個人消費及び設備投資が底堅く推移したことなどから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況下で、当社グループは「グローバルワンストップソリューション企業」を目指し、「原価低減加速、生産性向上による安定収益体制の構築」、「コアビジネスによる市場先行」及び「ソリューション・サービス事業拡大」に鋭意努めてまいりました。

売上高につきましては、海外市場向けPOSシステムは減少しましたが、国内市場向けPOSシステムが増加したことなどから、2,499億7百万円（前年同期比6%増）となりました。また損益につきましては、海外市場向けPOSシステムの損益悪化はありましたが、国内市場向けPOSシステムが大幅増益となったことなどから、営業利益は101億74百万円（前年同期比42%増）、経常利益は96億75百万円（前年同期比64%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億89百万円（前年同期比83%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの状況は、次のとおりであります。

#### (リテールソリューション事業)

国内及び海外市場向けPOSシステム、国内市場向け複合機、国内市場向けオートIDシステム、並びにそれらの関連商品などを取り扱っているリテールソリューション事業は、競合他社との競争激化が続く厳しい事業環境の中で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発、主力・注力商品の拡販、エリア・マーケティングの推進、コスト競争力強化による収益体質向上などに鋭意注力いたしました。

国内市場向けPOSシステムは、消費税率引き上げ及び軽減税率制度の実施に伴い全般的にPOSシステムの販売が好調であったことに加え、人手不足を背景にセミセルフレジの売上が伸長したことから、売上は増加いたしました。

海外市場向けPOSシステムは、北米で売上が増加しましたが、欧州での売上の減少に加え、前年同期に大口物件が集中した反動によりアジアで売上が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

国内市場向け複合機は、販売台数が増加したことなどから、売上は増加いたしました。

国内市場向けオートIDシステムは、バーコードプリンタ全体の販売台数は減少したものの、中高級機種種の販売台数が伸長したことなどから、売上は前年同期並みとなりました。

この結果、リテールソリューション事業の売上高は、1,598億75百万円（前年同期比10%増）となりました。また、同事業の営業利益は、海外市場向けPOSシステムの損益悪化はありましたが、国内市場向けPOSシステムが大幅増益となったことなどから、83億92百万円（前年同期比61%増）となりました。

#### (プリンティングソリューション事業)

海外市場向け複合機、海外市場向けオートIDシステム、国内及び海外市場向けインクジェットヘッド、並びにそれらの関連商品などを取り扱っているプリンティングソリューション事業は、競合他社との価格競争激化が続く厳しい事業環境の中で、戦略商品の拡販、オフィス領域の業務ソリューションの拡充、パーティカル市場と新規事業領域の開拓、海外子会社の構造改革による固定費削減の推進などに鋭意注力いたしました。

海外市場向け複合機は、米州で売上が増加しましたが、為替の影響などにより欧州及びアジアで売上が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

海外市場向けオートIDシステムは、欧州及びアジアで売上が減少しましたが、米州で大手顧客向け販売により売上が増加したことから、売上は増加いたしました。

インクジェットヘッドは、国内で売上が増加しましたが、北米及び中国で売上が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

この結果、プリンティングソリューション事業の売上高は、940億25百万円（前年同期比1%減）となりました。また、同事業の営業利益は、為替の影響などから、17億81百万円（前年同期比9%減）となりました。

(注) オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ208億25百万円増加し、2,958億80百万円となりました。これは、第1四半期連結会計期間より、当社の在外連結子会社について、IFRS第16号「リース」及びASU 2016-02「リース」を適用したことなどにより固定資産の「有形固定資産」が157億27百万円増加したこと、また流動資産の「現金及び預金」が45億62百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度に比べ185億88百万円増加し、1,928億85百万円となりました。これは、第1四半期連結会計期間より、当社の在外連結子会社について、IFRS第16号「リース」及びASU 2016-02「リース」を適用したことなどにより、流動負債の「その他」が47億14百万円、固定負債の「その他」が105億43百万円増加したこと、また流動負債の「支払手形及び買掛金」が20億35百万円増加したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度に比べ22億37百万円増加し、1,029億95百万円となりました。これは主に、その他の包括利益累計額の「為替換算調整勘定」が27億97百万円、「利益剰余金」が配当金の支払いにより16億48百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により78億89百万円増加したことなどによります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動については、税金等調整前四半期純利益が93億1百万円、減価償却費が81億34百万円、仕入債務の増加額が47億32百万円となりましたが、売上債権の増加額が35億73百万円、たな卸資産の増加額が30億54百万円、法人税等の支払額が20億42百万円となったことなどから、147億40百万円の収入（前年同期は98億80百万円の収入）となりました。

投資活動については、有形固定資産並びに無形固定資産の取得による支出などにより、70億9百万円の支出（前年同期は64億81百万円の支出）となりました。

これによりフリー・キャッシュ・フローは77億30百万円の収入（前年同期は33億99百万円の収入）となりました。

財務活動については、ファイナンス・リース債務の返済や配当金の支払いなどにより、37億37百万円の支出（前年同期は52億85百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の当社グループの資金（四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物」）残高は、前連結会計年度と比べ15億74百万円増加し570億72百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日の2019年3月期決算発表時の予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,501	50,063
グループ預け金	9,996	7,009
受取手形及び売掛金	60,054	61,470
商品及び製品	34,775	32,404
仕掛品	1,905	5,186
原材料及び貯蔵品	6,584	7,411
その他	31,888	33,075
貸倒引当金	△1,443	△1,375
流動資産合計	189,263	195,246
固定資産		
有形固定資産	28,290	44,017
無形固定資産		
のれん	3,691	2,964
その他	10,055	9,968
無形固定資産合計	13,746	12,933
投資その他の資産		
その他	43,909	43,771
貸倒引当金	△153	△89
投資その他の資産合計	43,755	43,682
固定資産合計	85,792	100,634
資産合計	275,055	295,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,215	58,250
短期借入金	383	489
未払法人税等	1,800	3,126
その他	68,374	73,088
流動負債合計	126,774	134,954
固定負債		
長期借入金	0	423
退職給付に係る負債	34,621	34,062
その他	12,901	23,444
固定負債合計	47,523	57,930
負債合計	174,297	192,885
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	39,970	39,970
資本剰余金	—	24
利益剰余金	45,103	51,299
自己株式	△5,474	△5,414
株主資本合計	79,599	85,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,835	1,577
繰延ヘッジ損益	21	△12
為替換算調整勘定	9,111	6,313
最小年金負債調整額	△458	△437
退職給付に係る調整累計額	788	672
その他の包括利益累計額合計	11,298	8,113
新株予約権	147	110
非支配株主持分	9,712	8,891
純資産合計	100,758	102,995
負債純資産合計	275,055	295,880

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	236,071	249,907
売上原価	138,153	147,446
売上総利益	97,918	102,461
販売費及び一般管理費	90,733	92,287
営業利益	7,184	10,174
営業外収益		
受取利息	180	144
受取配当金	24	54
デリバティブ評価益	—	2
為替差益	824	—
その他	177	217
営業外収益合計	1,206	419
営業外費用		
支払利息	176	209
デリバティブ評価損	1,388	—
為替差損	—	13
その他	928	695
営業外費用合計	2,493	918
経常利益	5,897	9,675
特別利益		
投資有価証券売却益	506	3
特別利益合計	506	3
特別損失		
固定資産減損損失	—	85
事業構造改革費用	—	291
特別損失合計	—	376
税金等調整前四半期純利益	6,403	9,301
法人税等	2,125	1,661
四半期純利益	4,278	7,640
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	△249
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,307	7,889



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,278	7,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	△257
繰延ヘッジ損益	32	△33
為替換算調整勘定	476	△3,132
最小年金負債調整額	208	20
退職給付に係る調整額	110	△116
その他の包括利益合計	724	△3,520
四半期包括利益	5,002	4,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,393	4,704
非支配株主に係る四半期包括利益	608	△584

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,403	9,301
減価償却費	7,042	8,134
固定資産減損損失	—	85
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△180	△88
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△239	△750
受取利息及び受取配当金	△204	△199
支払利息	176	209
投資有価証券売却損益 (△は益)	△506	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	12,496	△3,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	228	△3,054
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,588	4,732
事業構造改革費用	—	291
その他	△6,386	1,315
小計	14,242	16,400
利息及び配当金の受取額	226	172
利息の支払額	△200	△199
法人税等の支払額	△4,387	△2,042
法人税等の還付額	—	408
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,880	14,740
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,487	△5,102
有形固定資産の売却による収入	39	92
無形固定資産の取得による支出	△1,157	△1,468
投資有価証券の取得による支出	△6	△517
投資有価証券の売却による収入	631	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△667	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	0	0
長期貸付けによる支出	△0	△0
長期貸付金の回収による収入	5	4
その他	160	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,481	△7,009
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7	109
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,649	△2,346
長期借入れによる収入	—	470
長期借入金の返済による支出	△1	△38
自己株式の取得による支出	△7	△2
配当金の支払額	△1,373	△1,646
非支配株主への配当金の支払額	△749	△284
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,495	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,285	△3,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,441	△2,418
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△444	1,574
現金及び現金同等物の期首残高	57,355	55,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,911	57,072

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」及び米国会計基準 ASU 2016-02「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当四半期連結貸借対照表の期首における使用権資産「有形固定資産」(純額)等が186億80百万円、短期リース債務「流動負債－その他」が44億95百万円、長期リース債務「固定負債－その他」が142億30百万円それぞれ増加し、「利益剰余金」が44百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	リテール ソリューション	プリンティング ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	145,454	90,617	236,071	—	236,071
セグメント間の 内部売上高又は振替高	56	4,138	4,195	△4,195	—
計	145,510	94,756	240,267	△4,195	236,071
セグメント利益	5,228	1,955	7,184	—	7,184

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	リテール ソリューション	プリンティング ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	159,765	90,142	249,907	—	249,907
セグメント間の 内部売上高又は振替高	110	3,882	3,993	△3,993	—
計	159,875	94,025	253,901	△3,993	249,907
セグメント利益	8,392	1,781	10,174	—	10,174

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足情報

## (1) 決算概要の推移

[連結]

(単位：百万円)

摘要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
売上高	243,218	236,071	249,907	513,289	476,824	480,000
前同期比/前期比	100%	97%	106%	103%	93%	101%
営業利益	10,392	7,184	10,174	24,546	17,989	20,000
前同期比/前期比	161%	69%	142%	168%	73%	111%
経常利益	9,535	5,897	9,675	22,768	16,471	18,000
前同期比/前期比	126%	62%	164%	182%	72%	109%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,150	4,307	7,889	17,512	11,211	12,000
前同期比/前期比	119%	84%	183%	226%	64%	107%
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	93.73	78.38	143.51	318.73	204.00	218.36
連結子会社数 (社)	82	80	79	79	81	未定

平均レート(US\$) (円)	111.20	109.50	109.19	111.21	110.69	107.34
平均レート(EUR) (円)	125.60	129.52	122.01	129.34	128.78	120.84

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

## (2) 報告セグメント情報の推移

[連結売上高]

(単位：百万円)

摘 要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
リテールソリューション 事業	150,631	145,510	159,875	324,499	292,303	301,000
前同期比/前期比	96%	97%	110%	101%	90%	103%
プリンティング ソリューション事業	98,293	94,756	94,025	199,971	192,949	188,000
前同期比/前期比	106%	96%	99%	106%	96%	97%
小計	248,924	240,267	253,901	524,471	485,252	489,000
消去	△5,705	△4,195	△3,993	△11,181	△8,428	△9,000
合計	243,218	236,071	249,907	513,289	476,824	480,000
前同期比/前期比	100%	97%	106%	103%	93%	101%

(注) 各事業の売上高は「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含めて表示しております。

[連結営業利益]

(単位：百万円)

摘 要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
リテールソリューション 事業	6,221	5,228	8,392	17,255	12,323	15,000
営業利益率	4.1%	3.6%	5.2%	5.3%	4.2%	5.0%
プリンティング ソリューション事業	4,171	1,955	1,781	7,291	5,666	5,000
営業利益率	4.2%	2.1%	1.9%	3.6%	2.9%	2.7%
合計	10,392	7,184	10,174	24,546	17,989	20,000
営業利益率	4.3%	3.0%	4.1%	4.8%	3.8%	4.2%

## (3) 仕向地別売上高の推移

[仕向地別売上高/連結]

(単位:百万円)

摘要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期
日本	97,250	93,219	108,705	217,770	187,151
連結売上高に占める割合	40%	39%	43%	42%	39%
米州	74,121	69,928	74,609	146,675	143,361
連結売上高に占める割合	30%	30%	30%	29%	30%
欧州	48,259	46,899	43,796	100,493	96,329
連結売上高に占める割合	20%	20%	18%	20%	20%
その他	23,586	26,023	22,796	48,350	49,982
連結売上高に占める割合	10%	11%	9%	9%	11%
合計	243,218	236,071	249,907	513,289	476,824
連結売上高に占める割合	100%	100%	100%	100%	100%

## (4) 海外生産高比率の推移

[海外生産高比率/連結]

摘要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期
海外比率	73%	75%	74%	65%	75%

## (5) 資源投入の推移

[有形固定資産及び無形固定資産の増加額/連結]

(単位:百万円)

摘要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
連結	7,378	6,677	7,976	14,183	14,137	15,000
前同期比/前期比	127%	90%	119%	117%	100%	106%

(注) 2020年3月期第2四半期(累計)には、第1四半期連結会計期間より一部の在外連結子会社でIFRS第16号「リース」を適用している影響が含まれております。

[研究開発費/連結]

(単位:百万円)

摘要	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
連結	13,894	14,647	13,501	28,065	27,761	29,000
売上高比	5.7%	6.2%	5.4%	5.5%	5.8%	6.0%
前同期比/前期比	95%	105%	92%	100%	99%	104%

[期末在籍人員/連結]

摘要	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
連結 (人)	20,227	19,870	20,017	19,780	19,980	20,000
前同期比/前期比 (人)	△502	△357	147	△459	200	20